

道の駅開業に向けた準備が進む

情報発信事業や備品の購入費779万円を計上

12月議会定例会は12月6日から9日まで4日間の会期で開かれました。今定例会には、道の駅の開業に向けての情報発信事業や備品購入費などの平成28年度補正予算、農産物加工施設設置条例、道の駅設置および管理に関する条例の一部改正など18議案が提出され、すべて原案どおり可決されました。一般質問では9人の議員が登壇し、15項目にわたって町政をたずねました。

質疑

一般会計

仮設住宅の不要備品とは何か

問 (渡辺勝弘議員) 財産管理費の機器設置工事130万円は、仮設住宅の不要備品を公共施設に再利用するための移設工事だが、不要備品とは何

を指すのか。また、130万円の根拠は。
総務課長 エアコン、便座、給湯器、物置などである。また、予算の内容は、エアコン2台を小学校とももたん広場に、便座は文化センターに、給湯器は上野台の体育館に、物置は駅前倉庫、文化センター、各運動施設に設置するための工事費で積算した。

人・農地プラン作成支援業務で増額の内容は

問 (松浦常雄議員) 人・農地プラン作成支援業務105万円の内容は。
産業振興課長 人・農地プランの策定が今年6月に全5地区で終了した。その推進と支援として町地域農業再生協議会に業務を委託している人件費等が不足したため計上したものである。

果樹産地育成対策事業で減額の理由は

問 (井砂善榮議員) 果樹産地育成対策事業で626万円の減額とあるが、内容を伺う。
産業振興課長 当初予算で補助金として国、



道の駅工事の進捗状況を視察(産業建設常任委員会)

部活動補助金は何に使われるのか

問 (松浦常雄議員) 中学校部活動補助金318万円があるが、今の時期だどどのように使われるのか。
教育次長 実績に基づく部分で、バスケットボール男子、ソフトテニス女子が東北大会に出場した交通費、参加費が主である。また、新人大会でバレーボール男子、ソフトテニス女子が県大会に出場した。これからソフトテニス山形県での大会に出場予定である。

るさと産品の返礼品のことだが、その中身を伺う。また、全国的にふるさと納税額が上がって返礼品もグレードアップしているが、町では将来的に他の市町村と競争に走る形で返礼品を考えているのか。
総務課長 これから想定されるのはあんぽ柿などであり、見込み金額として、物の代金と業者へ支払う手数料、送料を合わせ350万円である。寄附の残りは基金積立金に149万円計上している。

納税者に返礼するふるさと産品の内容は

問 (渡辺勝弘議員) ふるさと納税業務委託350万円の計上は

また、町では「ふるさと納税町特産品贈呈事業実施要項」を定めており、納税者に特産品を贈呈して感謝の意を表し、特産品を広く知らせることが主旨である。今後とも主旨を守りながらより良くふるさと納税制度を活用して町のPRに努めたい。

高齢者配食サービスの利用者は何人か

問 (阿部泰藏議員) 高齢者配食サービス事業66万円について、現在配食を受けている高齢者は何人で、今後増加する配食数はどのくらいか。
保健福祉課長 利用者は10月現在で51人である。利用者が増加したため、配食数が8300食から1万5000食になる見込みで増額をした。

赤井畑線の土地購入の考えはあるか

問 (八島博正議員) 旧大和田スタンドの土地購入費369万円があるが、隣接する県道赤井畑線の購入はどのように考えているのか。
総務課長 県道については、県との協議や近隣の方々との話し合いもある。どの線が県道が廃道になるのかも含め、今後協議を進

経済対策臨時福祉給付金の内容は

問 (渡辺勝弘議員) 経済対策臨時福祉給付金2100万円の増額があるが、その内容を伺う。
保健福祉課長 消費税の引き上げによる所得が低い方への影響を緩和す

めながら区域を確定し、最終的には町で土地を購入して役場敷地の一部としたい。そのため、国の経済政策として支給されるものである。今回は消費税率が8%から10%への引き上げが2年半延期されたことから、その分を一括前倒しをして支給されることになった。町民税均等割が課税されていない方が対象で、支給額は1人1万5千円、1400人を見込んで計上している。なお、事務費と併せて、全額が国庫補助金である。

平成28年度一般会計補正予算(第6号)のおもな内容

【主な事業】	
・町債(借金)返済	2億4778万円
・臨時福祉給付金の事業費	2235万円
・道の駅開業準備補助金	410万円
・道の駅開業に向けた情報発信事業	369万円
・旧大和田スタンドの一部の土地購入費	369万円
・災害援護資金の返済	376万円
・ふるさと納税事業費	355万円
・義経の腰掛松覆屋改修事業費	323万円
・中学校部活動補助金(東北大会出場など)	318万円
・高齢者福祉計画等の策定に向けた事前調査費	274万円
・道の駅に光回線を引き込む工事費	216万円
・その他(人・農地プラン作成委託費の増額分など)	966万円
計	3億989万円
【主な財源】	
・前年度からの繰越金	2億7472万円
・国・県からの補助金(経済対策臨時福祉給付金に係る補助金など)	1421万円
・町債(借金)	1130万円
・ふるさと納税(寄付金)	500万円
・その他(災害援護資金の返還金など)	466万円
計	3億989万円